KNOWLEDGE CAPITAL

2017 年 4 月 20 日

各　位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社 KMO

グランフロント大阪 知的創造・交流の場「ナレッジキャピタル」開業4周年

4年間の活動成果を発表

大学や研究機関・企業などの総参画者数は 147 者
会員制交流サロン「ナレッジサロン」総来場者数約 60 万人
海外から 53 ヵ国　251 団体が視察・来訪

一般社団法人ナレッジキャピタル（代表理事：宮原　秀夫）ならびに株式会社 KMO（代表取締役社長：小田島　秀俊）はナレッジキャピタル開業 4 周年を迎えるにあたり活動成果発表会を本日開催し、これまでの活動成果および 5 年目に向けての展望などを発表しましたのでお知らせします。

ナレッジキャピタルは 2013 年 4 月、民間の開発事業者 12 社により開業したうめきた「グランフロント大阪」の中核施設として誕生しました。“「感性」と「技術」との融合により「新たな価値」を創出する活動体”として知的な交流機会を提供し新たな“知の創造サイクル”を生み出すことを目的にこれまで活動を行ってきました。大阪・梅田という都心立地において、知的交流を通じたイノベーション創出をワンストップで実現するナレッジキャピタルの各施設には産・学・官さまざまな企業や団体、機関が参画しています。

■ナレッジキャピタル各施設　参画者数（2017 年 3 月末時点）

総参画者数は 147 者（サロン会員は除く）

The Lab.（みんなで世界一研究所）
14 者
［大学］　5 大学
［行政関係］1 団体
［企業］　8 社

FUTURE LIFE SHOWROOM
22 者
［大学］　1 大学
［企業］　20 社
［医療］　1 機関

KNOWLEDGE OFFICE
20 者
［大学］　5 大学
［研究機関］6 機関
［行政関係］1 団体
［企業］　8 社

COLLABO OFFICE
37 者
［大学］　1 大学
［行政関係］2 団体
［企業］　33 社
［海外機関］1 社

COLLABO OFFICE nx
54 者
［属性］
・WEB・システム　22.8%
・クリエイター　16.7%
・デザイナー　14.8%
・コンサルティング　18.5%

KNOWLEDGE SALON
2,018 名
［属性］
・サービス業　21%
・情報通信　15%
・アカデミック　10%
・製造業　10%
・小売　7%
・士業　5%

■ナレッジキャピタル各施設　総来場者数（2017 年 3 月末時点　累計）

The Lab.（みんなで世界一研究所）
累計約 352 万人

FUTURE LIFE SHOWROOM
累計約 1,880 万人

KNOWLEDGE SALON
累計約 60 万人

また、国内に留まらず海外からも数多くの方々が.ナレッジキャピタルを訪れており、海外機関との相互交流や施設間交流も行っています。

■海外からの視察・来訪者数（2017 年 3 月末時点　累計）

53 ヵ国 251 団体

■2016 年における主な成果

ナレッジキャピタルでは、知的交流の場としてだけではなくコーディネート活動、交流イベントなどを通じて、さまざまなコラボレーションプロダクトやプロジェクトが誕生し、今後も数多くのプロジェクトの展開を予定しています。

国際プロジェクト

ナレッジキャピタルは開業時以来、海外都市や海外機関との接点構築を積極的に展開し、双方の交流プログラムやコラボレーションイベントなどを実施しています。また、海外機関との MOU も積極的に締結し、相互連携を行っています。【香港スマートシティコンソーシアム（SSC）】、フランス・グルノーブルの【原子力代替エネルギー庁　電子情報技術研究所（CEA LETI）】、【台湾デザインセンター】など、**現時点で海外 10 機関と連携しています。**

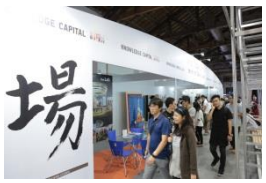
①世界最高峰のメディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2016」に 2 年連続出展

ナレッジキャピタルは、オーストリア・リンツ市に拠点を置く世界的な文化機関「アルスエレクトロニカ」と開業前から交流を持ち、関係性を深めて参りました。前年に引き続き、世界最高峰のメディアアートの祭典「ARS ELECTRONICA FESTIVAL 2016」へ招聘（しょうへい）され、2 年連続の参加が実現しました。

②フランス・アンギャンレバン市の国際デジタルアート・ビエンナーレ「バン・ニュメリック 2016」に初出展

フランス・アンギャンレバン市のデジタルアートセンター「Centre des Arts(以下 CDA)」が開催する国際的なデジタルアートのビエンナーレ「Bains numériques（バン・ニュメリック）2016」のプログラム「The Digital Factory」にナレッジキャピタル参画者 5 者と共に初出展し、「TECHNOMAGIE JAPONAISE」という全体テーマのもと、最先端の技術、研究の中に日本的なコンテンツや見せ方を取り入れたプロジェクトを、約 150 ㎡のナレッジキャピタル専用スペースに展示しました。

③国際的デザインの祭典「World Design Capital 2016 Taipei」に初出展



2016 年 4 月に「World Design Capital 2016 Taipei」の企画と運営を行う台湾政府経済省の外郭組織「台湾デザインセンター（以下「TDC」）」とMOUを締結し、相互情報や意見交換を積極的に行ってきたことにより、国際的デザインの祭典「World Design Capital 2016 Taipei」への出展が実現しました。ナレッジキャピタル参画者と共に、先端技術やクリエーティブな作品等を展示する他、交流の場「ナレッジサロン」を再現し、ナレッジキャピタルならではのアクティビティを紹介しました。

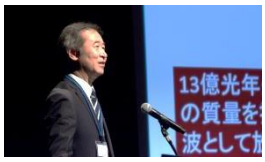
④タイ・チェンマイのクリエーティブ・アートの祭典「Chiang Mai Design Week 2016」に初出展

チェンマイ市内のさまざまな場所で開催されるクリエーティブ・アートの祭典である「Chiang Mai Design Week 2016」へ Thailand Creative & Design Center から招聘され、初出展しました。3 つの Award 事業についての紹介と、技術展示の他、国内外の大学・専門学校生を対象にした国際的なクリエーティブアワード「ISCA」の 2013 年～2016 年の「国内・海外映像コンテンツ部門」受賞作品計 8 作品の上映を行いました。

新しい学びの場の構築

ナレッジキャピタルでは、「ナレッジキャピタル超学校」と題し、大学や企業、研究機関などのさまざまな分野の研究者と一般参加者が一緒に考え、対話するナレッジキャピタルならではのプログラムを提供しています。2016 年度では、全 72 講座を開催し、約 3,280 名に参加いただきました。その他、ナレッジキャピタルならではの新しい学びの場を構築しています。

①ノーベル物理学賞受賞　梶田隆章氏「国立大学附置研究所・センター長会議」が民間施設と初の共同開催



「国立大学附置研究所・センター長会議」と民間機関であるナレッジキャピタルが「ナレッジキャピタル超学校」を共同開催。ノーベル物理学賞受賞者である梶田　隆章氏ら3名の研究者が登場し、「解き明かされる宇宙の秘密」をテーマに講演を行いました。

②中学生実践学習プログラムの開発

ナレッジキャピタルに参画する企業や大学・研究機関の協力のもと、次世代を担う若手人材の育成を目的に、他では体験することのできない実践学習プログラムを開発。健康科学、空間展示、先端技術などナレッジキャピタル発のイノベーション成果を体験できるプログラムや、ナレッジパーソンとの会話から学ぶプログラムを実施しました。

③子どもたちの第三の学び場「ワークショップ」開催

子どもたちが家庭や学校以外の第三の学びの場としてナレッジキャピタルを活用することを目的に、ナレッジキャピタルに参画する大学や企業を中心としたワークショップを定期的に開催しています。2016 年度は、春・夏・秋のシリーズを開催し、15,000 名を超える方々に参加いただきました。

文化発信拠点

開業時よりこれまでにない新しい文化の開発を行ってきた結果、さまざまなメジャーイベントやコラボレーションイベントをナレッジキャピタルと共に取り組みたいというニーズが拡大し、関西における新文化発信拠点としての存在感が高まっています。

①うめだ文楽 3 年連続開催

大阪が世界に誇る伝統芸能「文楽」。ナレッジキャピタルと大阪の民放 5 局が共同で文楽を愛するゲストと共に文楽の楽しさを発信するトークショーや文楽解説イベントを実施。2015 年から 3 年連続での開催が実現しました。

②ショートショート フィルム フェスティバル ＆ アジア OSAKA 4 年連続開催

ショートショート フィルム フェスティバル ＆ アジアは、新しい映像ジャンルである「ショートフィルム」を日本に紹介するために、俳優の別所哲也さんが 1999 年に東京で立ち上げました 。映画祭としては、これまでに 30 万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべく、その活動領域を広げています。本映画祭は、大阪では“ナレッジキャピタル”が主催となり 2013 年から 4 年連続で開催しています。

ナレッジキャピタルから生まれたプロダクト

①国内外のファンドや企業から約 30 億円の資金調達。京都大学発のベンチャー企業 GLM株式会社

ナレッジキャピタルの「The Lab.」に参画し、伝説のスポーツカー「トミーカイラ ZZ」を、電気自動車として開発・販売するGLM株式会社は、第三者割当増資を実施し総額約 30 億円の資金調達を達成するなど、日本のみならず海外からも高く評価されています。また、初出展したパリモーターショー2016 にて次世代 EV スーパーカーのコンセプト車両「GLM G4」を発表し、世界から注目される企業となりました。

②人工無脳ロボット雪丸（聖徳太子の愛犬）と生徒だけで運用できる小学校図書システム

ナレッジサロンでの出会いをきっかけに、聖徳太子の愛犬「雪丸」のロボット化を企画。雪丸が人工無脳ロボットになって図書室の受付に設置されました。現在、文部科学省平成 27 年度「子どもの読書活動優秀実践校」となった京都聖母学院小学校で実際に活躍しています。

③足部に障害や機能低下のある人が快適にウォーキング運動できるシューズの中敷やスキンケア商品

株式会社アシックスとロート製薬株式会社は、足病科を有する医療法人社団青泉会下北沢病院を研究拠点として、足部に障害や機能低下のある人が快適にウォーキング運動できるシューズ、中敷やスキンケア商品の開発に取り組んでいます。 これらの活動を通じて健康寿命延伸という社会的意義への貢献を目指しています。 現在、足、歩行に関するデータを収集すると同時に、2018 年に販売予定のシューズの機能検証を実施しています。

Knowledge Capital Award City Weekend

ナレッジキャピタルは、知的創造・交流の場として「新しい価値の創出」を目指し、日々活動をしています。2017 年 3 月には「Award City Weekend」と題し、3 日間に亘って、ナレッジキャピタルから生まれる多彩なイノベーションを表彰する「Knowledge Innovation Award 4th」と世界中の人に焦点を当て、『OMOSHIROI』の価値を発信する国際的なアワード「World OMOSIROI Award 3rd」を同時開催するとともに、海外連携先である各機関から、キーパーソンが来日し、科学技術やデザイン、メディアアートなどイノベーションをテーマとしたプレゼンテーションと交流会を実施しました。

■今後の展望

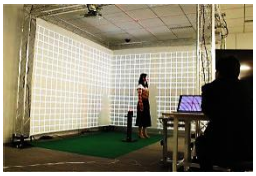
さまざまな企画やイベントを通し、数多くの著名人や有識者、アーティストから実業家などの幅広いネットワークがナレッジキャピタル内で生まれています。今後は、**OMOSIROI-場とワークプレイスを新たに開設し**、参画者の意見を吸い上げ、ニューコンビネーションによるプロジェクト化の推進を加速させていきます。

今後もナレッジキャピタルをハブにネットワークを構築し、知の集積を図り、ナレッジキャピタルパーソンの各地への拡がりを目指し活動してまいります。

①OMOSIROI-場

具体的な事業化を目指したプロジェクトのための「ニューコンビネーションコーディネート」専用デスクです。新しいプロジェクトを始めたい方、メンバーやパートナーをお探しの方のニーズにお応えする場として、ナレッジサロン会員をはじめナレッジキャピタル参画者、海外連携先や外部関係機関など広いネットワークの中から仲間を見つけて新しいプロジェクトを推進します。

②ワークプレイス



「OMOSIROI-場」でコーディネートが実現し、プロジェクトがスタートした際に、そのプロジェクトを推進する場です。大型映像スクリーンやプロジェクターをフレキシブルに配置し、映像によるプロトタイプ検証も可能です。その他、モーションキャプチャーやクロマキー技術などを使用してのコンテンツ製作や、ディスカッションスペース、プロジェクトデスクなども設置しています。
さまざまな先端テクノロジーの実証の場として活用でき、スピーディーなイノベーション創出を目指します。

【施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪　北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 （アクティブラボ.・カフェラボ・イベントラボ）	地下 1 階～3 階
	フューチャーライフショールーム	1 階～6 階
	ナレッジシアター	4 階
	ナレッジサロン	7 階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7 階～8 階
	カンファレンスルーム	8 階・10 階
	ナレッジオフィス	9 階～13 階
	コンベンションセンター	地下 1 階～地下 2 階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル　代表理事　宮原 秀夫 株式会社 KMO　代表取締役 小田島 秀俊	
事業者 （五十音順）	NTT 都市開発株式会社 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 新日鉄興和不動産株式会社 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店 東京建物株式会社 日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社 三菱地所株式会社	

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】
一般社団法人ナレッジキャピタル　担当：入江・奥村　電話：06-6372-6427／FAX：06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013 年 4 月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと、株式会社 KMO において運営しています。